

府営住宅用地活用事業開発事業者公募の基本テーマ・事業目標について

＜府営東大阪春宮住宅用地（大規模商業施設跡地）＞

当該用地は、大型商業施設が20年の定期借地契約により営業していましたが、令和3年3月に閉店し、令和4年12月に大阪府へ更地返還されました。ここに、大阪モノレールの「(仮称)荒本駅」が建設される予定であり、近鉄けいはんな線「荒本駅」との新たな交通結節点となることから、その有効活用により荒本駅周辺の更なる発展に寄与することが期待されています。

また、大阪府ではポストコロナを見据え、東西二極の一極を担う副首都として、2050年を目標に、大阪のめざすべき都市像やまちづくりの方向性、その推進の取組等を示す「大阪のまちづくりグランドデザイン」を策定し、まちづくりの基本目標として、「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」を掲げています。

その中で、当該用地を含む長田・荒本駅周辺は、「大阪の中核を担う拠点エリア」の一つで、東西都市軸の強化を担うエリアである「東部大阪 中枢エリア」として、「大規模公有地を活用した商業・交流機能の向上等、駅周辺の新たな都市空間の形成と都市機能の誘導を図る」とされています。

そこで、大阪府は、東大阪市とともに、この用地を活用して、「市の中心拠点」、「大阪の中核を担う拠点」の形成に資するため、まちづくりに貢献できる売却方式（二段階審査方式[※]）により開発事業者の公募をすることとしました。その基本テーマ・事業目標は下記のとおりです。

※ 二段階審査方式

…申込者から土地利用に関する計画提案書の提出を受け、外部有識者からなる「大阪府営住宅活用用地事業者選定審査会」による審査(計画提案審査)を行います。この審査で大阪府の求める条件(基準)を満たした優秀な者を選定し、これらを対象に提案価格により事業予定者を決定します。

【基本テーマ】

- にぎわいあふれる人・モノ・情報がつながるまちの形成
- 誰もが快適に回遊できるゆとりあるまちの形成

【事業目標】

現状のポテンシャル（周辺の施設集積、公共交通や車でのアクセス性の高さ）を活かしつつ、大阪モノレール南伸並びに新駅設置による新たな人流の発生に対応するため、人々が安心・安全、快適に回遊・滞在できる空間を整備し、駅前にふさわしい良好な景観形成を図る。

加えて、商業を中心とする多様な機能が周辺施設と連携し、交流・にぎわい機能が充実した「大阪の中核拠点の一翼にふさわしい にぎわいとゆとりが調和した人々が集う新たな駅前拠点」をめざす。

◎ 詳細については、近日公開予定の公募要領を参照してください。

位置図

